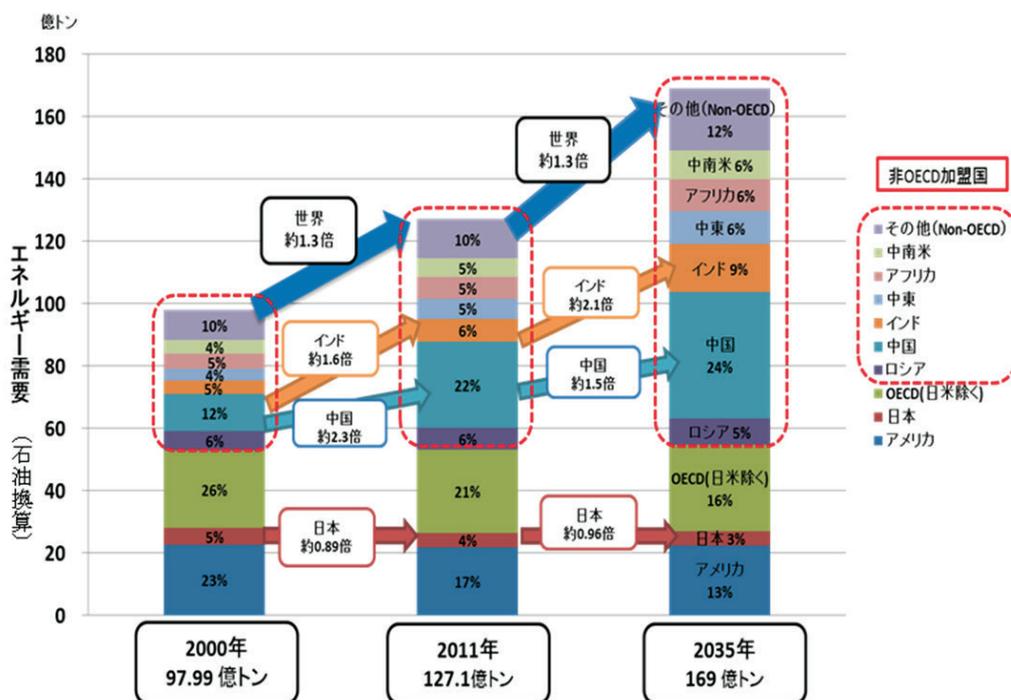


# エネルギー白書から シリーズ「我が国が抱える構造的問題」

## 7 世界のエネルギー需要の実測と予測

世界のエネルギー需要の実績と予測



出典：IEA「World Energy Outlook 2013」を基に作成

世界に目を転じてみると、エネルギー需要は増加を続けています。世界のエネルギー需要量は、2000年に石油換算で約98億トンであったものが、2011年には127.1億トン（2000年の約1.3倍）となり、さらに2035年には169億トン（2000年の約1.7倍、2011年の約1.3倍）に達すると見込まれています。

このエネルギー需要の増加の中心は、中国やインドを始めとした非OECD加盟国であると見込まれています。世界全体のエネルギー需要は、2011年から2035年にかけて石油換算で41.9億トン増加すると見込まれていますが、そのうち非OECD加盟国における増加分は40.3億トンとなる見込みであり、世界全体の需要増加分の約96%を占めると予測されています。

> 参考HP：日本のエネルギー事情のいま、をお伝えします

[http://www.fepec.or.jp/theme/now\\_energy/japan\\_energy\\_01.html](http://www.fepec.or.jp/theme/now_energy/japan_energy_01.html)

出典：資源エネルギー庁「平成25年度エネルギーに関する年次報告」(エネルギー白書)